

シンポジスト等略歴

【総合司会】

坊農豊彦（ぼうの とよひこ） 地区防災計画学会理事・事務局次長（大阪公立大学 UReC 特別研究員）



1964 年生まれ。日本大学大学院総合社会情報研究科博士前期課程修了。修士（国際情報）。パナソニックグループを経て、一般財団法人関西情報センターチームリーダー。地区防災計画学会理事・事務局次長、日本国際情報学会理事、堺市北区政策会議委員等を歴任。2015 年度地区防災計画学会功労賞受賞。

【冒頭挨拶】

後藤隆昭（ごとう たかあき） 内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（普及啓発・連携）



1995 年国土庁（現国土交通省）入庁後、国土行政、防災行政に携わる。内閣府防災担当では東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨、能登半島地震等の災害対応に当たったほか、被災者支援、復旧・復興、防災訓練、普及啓発、災害ボランティア等の防災各分野を経験。人と防災未来センター副センター長等を歴任。

【シンポジスト】

矢守克也（やもり かつや） 京都大学防災研究所教授・地区防災計画学会会長



1963 年生まれ。大阪大学博士（人間科学）。専門は、社会心理学、防災心理学。現在、地区防災計画学会会長、日本災害復興学会会長、自然災害学会副会長、災害情報学会副会長、日本質的心理学会理事、日本グループ・ダイナミクス学会理事、防災教育学会理事等をつとめる。主な著書に、『防災心理学入門』（ナカニシヤ出版・2021 年）、『防災・減災の人間科学』（新曜社・2011 年）、『防災人間科学』（東京大学出版会・2009 年）など。

加藤孝明（かとう たかあき） 東京大学生産技術研究所教授／社会科学研究所特任教授



1967 年生まれ。東京大学博士（工学）。東京大学工学部総合試験所助手、東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻助手、助教、准教授等を経て 2020 年より現職。専門は、地域安全システム学、まちづくり、都市計画。地区防災計画学会副会長、地域安全学会理事、都市計画学会理事等を歴任。2014 年度地区防災計画学会論文賞受賞。

鍵屋 一（かぎや はじめ） 跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授



1956 年生まれ。早稲田大学法学部卒後、板橋区役所入庁。福祉部長、危機管理担当部長、議会事務局長歴任後、退職。京都大学博士（情報学）。内閣府、文科省、消防庁等の公職多数。著書に『よくわかる自治体の防災・危機管理のしくみ』（学陽書房・2003 年）ほか。

山中晶一（やまなか しょういち） 高知市防災対策部防災政策課長，地区防災計画学会幹事



1974 年生まれ。高知市職員。東日本大震災直後、防災対策部地域防災推進課に配属。地域協働による地域防災を推進，事前復興をテーマにした下知地区防災計画策定を担当。現在，防災政策課で危機管理・防災に関する庁内・関係機関との総合調整や事前復興まちづくり計画策定に従事。「オンライン市役所防災対策課」「全国防災関係人口ミートアップ」を創始，立場や地域を超えた全国的なネットワークを構築し，被災地の復興と未災地の事前復興に寄与。

高橋和利（たかはし かずとし） 福知山市役所 地域包括ケア推進課 災害時ケアプラン推進係長



2005 年市役所入庁後、14 年間防災部局に所属し、平成 30 年の西日本豪雨等、4 度もの災害対応や被災後の生活再建支援等、復旧・復興業務を経験。令和 5 年度から、福祉部局に異動し、要支援者の個別避難計画作成、運用を担う。

松村直子（まつむら なおこ） Life+Life laboratory 代表（元沖縄県北谷町職員）



1973 年生まれ。大阪府出身。沖縄県中頭郡北谷町役場基地・安全対策課、防災アドバイザーとして勤務。地区防災計画モデル事業担当。Life+Life laboratory を立ち上げ、地域密着型サービスとしての防災教育・イベント企画立案・講演・ワークショップ等を行う。

【モデレーター】

西澤雅道（にしざわ まさみち） 内閣府政策統括官（防災担当）付企画官（元 福岡大学法学部准教授）



1973 年生まれ。中央大学法学部卒。内閣官房、内閣府、復興庁等で勤務。東日本大震災後に地区防災計画制度の企画立案を担当。主な著書は『地区防災計画制度入門』（NTT 出版・2014 年）。